

## ERE information

Vol.27 2015年2月25日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/石倉 正光  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

## Contents

- ▶第27回経済学検定試験：『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに前回平均点を大幅に上回る
- ▶第22回「大学対抗戦」：前回準優勝の専修大学チームが優勝！
  - ・前回の準優勝を糧に、今回は優勝しようと切磋琢磨（優勝チーム 中村天平さん）
  - ・夏休みから基礎学力の定着を図った結果の準優勝（準優勝チーム 茂田健太郎さん）
  - ・EREという目標があることで、学習に力が入る（個人賞トップ 石川大貴さん）
- ▶第23回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第28回ERE実施要領
- ▶委託会場制度利用のご案内

## ◀第27回経済学検定試験▶

『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに  
前回平均点を大幅に上回る

2014年12月7日(日)に実施いたしました第27回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,444名でした。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

ERE、EREマイクロ・マクロともに前回の平均点を大幅に上回りました。

EREは前回の平均点を72.7点上回りました。マクロ経済学の平均点で33.1点、統計学の平均点で24.8点、それぞれ前回は上回ったことが大きな要因で平均点が上昇しました。

また、EREマイクロ・マクロも前回の平均点を28.9点上回りました。マイクロ経済学は前回の平均点を6.7点、マクロ経済学は前回の平均点を22.2点、それぞれ上回っています。

## 《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	108.0点	136.1点	55.9点	46.1点	48.8点	53.5点
(前回)	106.0点	103.0点	68.3点	33.8点	36.0点	28.7点
標準偏差	43.98	41.88	22.76	22.48	17.92	22.37
(前回)	36.65	39.08	17.05	17.33	17.22	14.96

## 《資料1-2》

## 『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	107.5点	118.3点
(前回)	100.8点	96.1点
標準偏差	47.87点	42.26点
(前回)	41.90点	34.73点

## 《資料2》

## 成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	84名	1,360名
受験者数	49名	1,090名
平均点	448.4点	225.8点
標準偏差	126.09点	82.92点
最高得点	740点	480点
最低得点	240点	30点

## 《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	九州共立大学	99	20	立正大学	16
2	青山学院大学	83	20	関東学院大学	16
3	琉球大学	69	22	創価大学	15
4	龍谷大学	67	23	広島修道大学	14
5	中央大学	54	24	旭川大学	12
6	麗澤大学	43	24	跡見学園女子大学	12
7	久留米大学	43	24	九州産業大学	12
8	日本大学	42	27	金沢大学	11
9	山口大学	39	28	東京国際大学	10
10	専修大学	27	28	立命館大学	10
11	明海大学	26	30	名古屋市立大学	8
12	大阪経済大学	25	30	名古屋学院大学	8
13	福島大学	24	32	小樽商科大学	7
13	熊本学園大学	24	32	東京大学	7
13	大原学園 福岡校	24	32	専)福岡カレッジ・オブ・ビジネス	7
16	明治大学	20	35	お茶の水女子大学	6
17	大分大学	19	36	弘前大学	4
18	長崎県立大学	18	37	新潟産業大学	1
19	岡山商科大学	17	37	長岡大学	1
				個人申込み	504

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

## 《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1			滝田 洋平	S
2	明治大学	政治経済学部	大沼 英明	A+
3			尾崎 幸夫	A+
4			清水 邦敏	A+
5	立命館大学	経済学部	廣瀬 朋貴	A
6	熊本学園大学	経済学部	坂本 竜之介	A
7			柳澤 伸哉	A
7	前川公認会計士事務所	所長	前川 克博	A
9	株式会社日本政策投資銀行	都市開発部	上田 隆司	A

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
10	明治大学	政治経済学部	平 岡 祐 典	B+
10			松 森 勇 気	B+
10			笹 野 義 人	B+
13	同志社大学	経済学部	竹 腰 由 理	B+
14			板 垣 徳 生	B+
15			三 宮 信 秀	B+
15	創価大学	経済学部	丹 上 弘	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			MA JINJIN	S
2			Li Kunyang	S
3			李 旭 冉	S
3			HAN XIAO	S
3			呉 浩 剣	S
6	福島大学	経済経営学類	藤 井 快	S
6			楊 光	S
6			LU YAWEN	S
6			平 尾 忠 嗣	S
6	琉球大学	法文学部	茂 田 健太郎	S
6	琉球大学	法文学部	石 川 大 貴	S
12			黄 智 民	S
12			潘 文 喆	S
12	法政大学	経済学部	牛 田 健 介	S
12	名古屋市立大学	経済学部	舟 波 里 紗	S
12	中央ゼミナール		二 見 和 弥	S
12	創価大学	経済学部	黒 川 誠 一	S
12	岡山商科大学	経済学部	趙 素 芬	S
19			張 晨	S
19			王 星 辰	S
19			呉 源 源	S
19	市原市役所		野 村 巧	S
19				S
19	専修大学	経済学部	菅 谷 直 紀	S
19	専修大学	文学部	中 村 天 平	S
19			井 上 寛 樹	S
19	福岡カレッジオブビジネス	大学編入科	山 内 隼 秀	S
19	岡山商科大学	経済学部	盧 陽	S
29	福島大学	経済経営学類	額 賀 正 和	S
29			章 龍	S
29			王 一 楠	S
29	青山学院大学	経済学部	及 川 大 輔	S
29			武 山 祐 太	S
29			杉 山 英 孝	S

## 《第22回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

### 前回準優勝の専修大学チームが優勝！

準優勝は琉球大学「杉田ゼミ3年」チーム／個人賞トップは藤井 快さんら3名

第22回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、12校24チーム、計164名で競われました。優勝は、専修大学の「経済強化ハイレベルA」チームでした。1630点を獲得して、前回の準優勝に引き続き、今回は優勝となりました。

準優勝チームは、1600点を獲得した琉球大学「杉田ゼミ3年」チームです。

第3位には、1540点を獲得した福島大学の「経済分析同好会」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、450点を得点した福島大学「経済分析同好会」チームの藤井 快さん、琉球大学「杉田ゼミ3年」茂田 健太郎さん、同じく石川 大貴さんです。

なお、個人賞は400点以上14名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は283.48点で、前回は22.85点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済強化ハイレベルA	専修大学	1630点	407.5点
準優勝	杉田ゼミ3年	琉球大学	1600点	400.0点
第3位	経済分析同好会	福島大学	1540点	385.0点

\*参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

## ■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

### ☆優勝 専修大学 経済強化ハイレベルAチーム

#### 前回の準優勝を糧に、今回は優勝しようと切磋琢磨

今回、大学対抗戦で優勝という素晴らしい結果を残せたことを大変嬉しく思います。前回の準優勝という結果が大きな自信となり、次は優勝しよう、という明確な目標を持って学習に取り組めたことが、今回の結果につながったのだと思います。

日々の経済学の学習は、石川秀樹先生のご指導のもと、少人数のグループからなるゼミという形で行っています。過去問を解く際にはグループごとに点数を競い合い、分からなかった問題は、なるべくグループ内の話し合いで解決するように努めています。このような学習の進め方によって、メンバーの中に切磋琢磨する雰囲気生まれたように感じます。

チームは優勝という最高の結果を残しましたが、私自身の成績は、まだ満足できるものではありません。今回の反省点は、次回以降のE R Eに活かしていければと思います。ご指導いただいた石川秀樹先生と、様々なサポートをしてくださった大学の職員の方々には、本当に感謝しています。

(専修大学 経済強化ハイレベルAチーム 中村天平さん)

## ☆準優勝 琉球大学 杉田ゼミ3年チーム

### 夏休みから基礎学力の定着を図った結果の準優勝

この度、大学対抗戦で準優勝することができ、大変嬉しく思います。私達が準優勝できたのは、杉田勝弘先生をはじめとする大学の先生方や、ゼミの仲間たちのおかげであると感じております。

私たちのゼミでは、去年の夏休みからミクロ経済学・マクロ経済学の復習を行い、基礎の定着を図りました。そして一通り復習を行った後は、各自でEREの過去問を解き、わからない問題は4年次の先輩に解説をお願いし、理解を深めました。

EREに向けて勉強をしたことで、ミクロ経済学・マクロ経済学への知識が深まり、経済学の面白さを再確認することができました。

この結果に慢心することなく、来年度は大学対抗戦で優勝できるよう、頑張っていきたいと思っております。

(琉球大学 杉田ゼミ3年チーム 茂田健太郎さん)

## ☆個人賞トップ

### EREという目標があることで、学習に力が入る

今回、大学対抗戦準優勝および個人賞トップという成績をとることができ大変嬉しく思います。私たちのゼミでは8月頃からテキストや問題集を使い、受験者同士で教え合いながら学習を行ってきました。大学対抗戦ではその成果を出せたのだと感じています。

EREは、経済学を学ぶ学生や社会人が、自分の経済学の知識を試す非常に良い機会だと感じました。また、EREという1つの目標があることで、学習に力を入れることができると思います。私たちが所属する大学では、経済学専攻の学生に対し、EREを受験することを推奨しています。

個人的にも、EREの受験準備によって、ミクロ・マクロ経済学の基礎知識を整理したり、わからなかったことを新たに理解することができました。今後もこの結果に満足することなく学習を続け、より深く経済学を理解できるよう努力したいと思っております。

(琉球大学 杉田ゼミ3年チーム 石川大貴さん)

## 2015年7月受験用 ERE経済学検定試験 問題集

### 直近4回分360問をポイント解説！

- 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会が認定する唯一のERE受験対策問題集です。
- 第24回～第27回の試験問題と解答・ポイント解説を掲載。本書により出題傾向がつかめます。
- 国家公務員試験の受験対策、演習用のテキストとしても有効に活用できます。

経済法令研究会 編 日本経済学教育協会 認定  
A5判 304頁 予価1,900円＋税

# 第23回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2015年7月5日(日) 実施

●受付期間：2015年4月22日(水)～5月22日(金)〈消印有効〉

※エントリー料：無料

## ●前回まで参加した50校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／  
大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／九州大学／  
京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／  
札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／中央大学／  
筑波大学(同大学院)／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／同志社大学／  
東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／名古屋学院大学／  
名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／  
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／明治大学／  
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学



# 日経TEST

経済知力スコアで、キャリアアップのチャンスをつかめ！

<http://ntest.nikkei.jp>

「経済知力」とは、知識や情報を有効に活用して、経済のしくみや流れを理解し、新しいビジネスを生み出す能力のこと。日経TESTは、「経済知力」がどのくらい備わっているかを客観的に測ります。社員の能力判定や昇進・採用、人材育成の目的で導入する企業が増えています。レベルアップの目的で受験する個人も増えています。

## 全国一斉試験 年2回、全国で実施

実施日：2015年6月14日(日)・11月8日(日)

会場：札幌・盛岡・仙台・東京・横浜・新潟・名古屋・  
金沢・京都・大阪・広島・高松・福岡・熊本

出題形式：マークシート方式による四択一

受験料：5,400円(税込み)

申込締切：6月試験 2015年5月13日(水)

11月試験 2015年10月7日(水)

## テストセンター試験

都合の良い時に最寄りの会場で受験

全国一斉試験の機会を逃した人のために  
テストセンター試験を用意しました。  
試験終了後、成績表がすぐに閲覧でき、  
印刷して持ち帰ることができます。

申込期間：ウェブサイトでご確認ください。  
受験地域：主要都市、全国50ヶ所(ウェブサイト  
でご確認ください)

受験期間：電子受験票(パウチャーチケット)  
発行日から30日以内。

受験方法：テストセンターのパソコンで受験。  
四択一を選択式。

受験料：6,480円(消費税込み。内訳：受験料  
5,400円+施設使用料1,080円)

お申し込みは

## 就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

### ■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

### ■出題科目等

#### 〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／  
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

#### 〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

### ■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

### ■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国15の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

#### 《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21  
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

## 2015年度 第28回 E R E 実施要領

### 『E R E』（6科目）

実施回	第 28 回
試験日	2015年7月5日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2015年4月22日（水）～2015年5月22日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

### 『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 28 回
試験日	2015年7月5日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2015年4月22日（水）～2015年5月22日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4 択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

### 委託会場制度利用のご案内

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものです。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込みをいただく場合は「団体受験申込制度」があり、一定の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。

詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

#### ■検定試験運営センター

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL：03（3267）4821 FAX：03（3267）4999 e-mail：info@ere.or.jp